

令和7（2025）年度 生涯学習・社会教育関係職員パワーアップ講座①実施報告

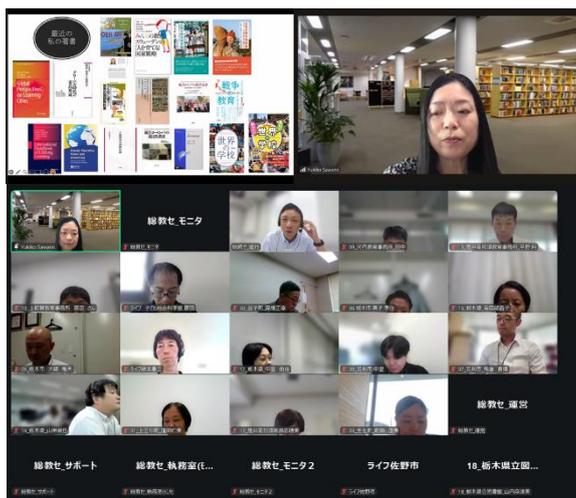
実施日：令和7年9月4日（木）

本研修は、生涯学習・社会教育主管課や公民館、市民センター、図書館、博物館、関連施設等の職員を対象に、社会の要請に応じた生涯学習・社会教育行政を一步ずつ着実に推進するため、各自治体で取り組もうと考える施策を実現・実行するために必要な知識や技術の習得を目指します。

第1回の研修では、ウェルビーイングの実現に向けた社会教育の在り方について、オンラインにて講話と協議を行いました。

○講話「ウェルビーイングの実現に向けた社会教育の在り方とは」

聖心女子大学 教授 澤野 由紀子 氏



聖心女子大学教授・澤野由紀子氏によるオンライン講話を実施しました。講話では、ウェルビーイングの概念や、21世紀においてそれが重視される社会的背景について丁寧に解説されました。さらに、社会教育がウェルビーイングの実現に果たす役割について、国内外の事例を交えて紹介されました。特に、幸福度世界一とされるフィンランドの人々の暮らしや生涯学習の取り組みは、日本の社会教育への示唆に富み、参加者に多くの気付きを与えました。今後の教育活動に活かせる学びの多い講話となり、受講者からは高い評価と前向きな感想が寄せられました。

○協議「新たな気付きを共有しよう」

後半は、ブレイクアウトルームを用いて協議を行いました。自己紹介の後、心地よさを感じる瞬間や場所について、を語り合い、講話の中で共感した点や新たな視点を共有することで、受講者同士の理解と交流が深まる有意義な時間となりました。

総合教育センター職員



☆受講者の声（アンケートから）

- ・ウェルビーイングについて知ることに對して、今まで抵抗のあった言葉でしたが、心地のよい言葉に変わってきました。
- ・ウェルビーイングは、個人の成長を目的とするばかりでなく、場の状態を良くする結果につながることで、また、それぞれが相乗効果をもたらすことなど、社会教育がウェルビーイングの向上にとって果たす役割が大きいことが分かりました。
- ・その国の文化や思想などによって、幸福の捉え方が異なることを再確認することができました。だからこそ、日本型の生きがいを重視した生涯学習が大切なのだと思いました。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp